

## 平成16年度事業報告書

平成15年11月28日から平成16年5月31日まで

## 特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

## 1 事業の成果

NPO法人設立一年目の事業として、スキースクールにおけるスキー指導に関する事業、全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事業、並びに聴覚障害者へのスキー啓発・広報を実施しました。今年度の新しい取り組みとして、スキーヤー層の薄い西日本在住の聴覚障害スキーヤー発掘に注力しました。昨年まで東北エリアを中心に実施してきました正月レベルアップ合宿を西日本在住の聴覚障害スキーヤーが参加しやすいように場所を初めて北陸エリアに移して実施しました。また2月には西日本エリアで初めて聴覚障害児・者を対象にしたスキースクール・バッジテストを兵庫県奥神鍋高原スキー場で実施しました。この結果、正月レベルアップ合宿に36名(東日本17名、西日本19名)の参加者、2月のスキースクール・バッジテストに西日本在住の聴覚障害児・者32名の参加者があり、西日本在住の聴覚障害スキーヤーの拡大という当初の目的を達成することができました。また、3月に黒姫観光開発(株)ならびに(財)東京都スキー連盟加盟東京デフスキークラブのご協力を頂いて、黒姫高原スノーパークで「第7回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を実施しました。特に今年度の大会はNPO法人団体としての初めてのイベント大会でもあり、(株)小賀坂スキー製作所、スキージャーナル(株)、(株)ノースランド出版社、(株)ICI石井スポーツ、ファイテン(株)、(株)中央スポーツ、守山スポーツ(株)、(株)シークラフトをはじめ、数多くの企業より多数の協賛品を頂くことができました。これにより、昨年度を大幅に上回る大勢の43名の出場者(昨年度は27名)があり、技術選手権大会は大盛況のうちに幕を下ろすことができました。技術選手権大会への参加者が毎年着々と増え続けていることから、聴覚障害者スキーヤーのすそ野の広がりを感じております。また、NPO法人団体としても技術選手権大会の位置づけが聴覚障害者スキーヤーの中で確固たる地位を確立しつつあることの喜びを感じるとともに、来年度以降も継続して開催していくことの責任を改めて感じさせられました。以上のスキー事業のほかに聴覚障害者へのスキー啓発・広報の一環として指導員会のホームページを2月に開設、5月23日に機関紙を発行するなどNPO法人団体としての活動内容を不特定多数の方に向けて情報発信を行いました。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
聴覚障害児・者向けのスキー指導に関する事業	全国の聴覚障害者を対象にスキーの普及及び技術水準の向上を目的としたスキースクールを開催した。	12月30日～1月2日	石川県 白山瀨女高原スキー場、一里野温泉スキー場	7名	全国の聴覚障害者の36名	138
同上	同上	2月14日～2月16日	兵庫県 奥神鍋高原 奥神鍋スキー場	7名	西日本在住の聴覚障害児・者の32名	68
同上	同上	2月28日	富山県 極楽坂スキー場	4名	全国の聴覚障害者の17名	0
全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事業	全国の聴覚障害児・者を対象に心身の健全な発展を目的とした全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催した。	3月21日	長野県 黒姫高原スノーパーク	9名	全国の聴覚障害者の43名	170
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	ホームページを開設し、活動内容を不特定多数の方に紹介した。また情報交換の場として、機関誌などを発行した。	5月23日	事務所	3名	一般市民不特定多数	34